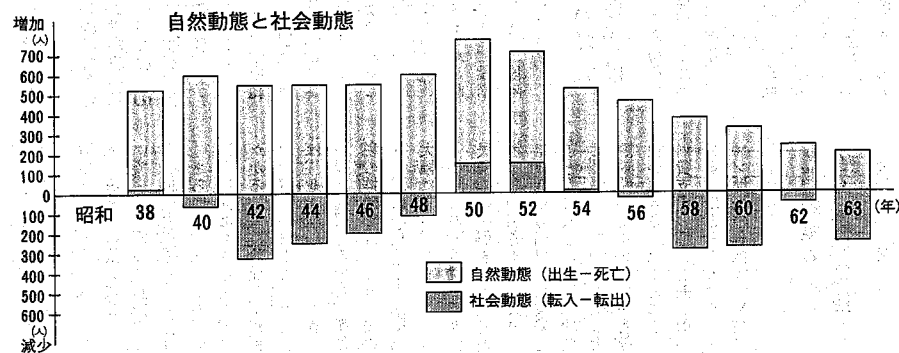
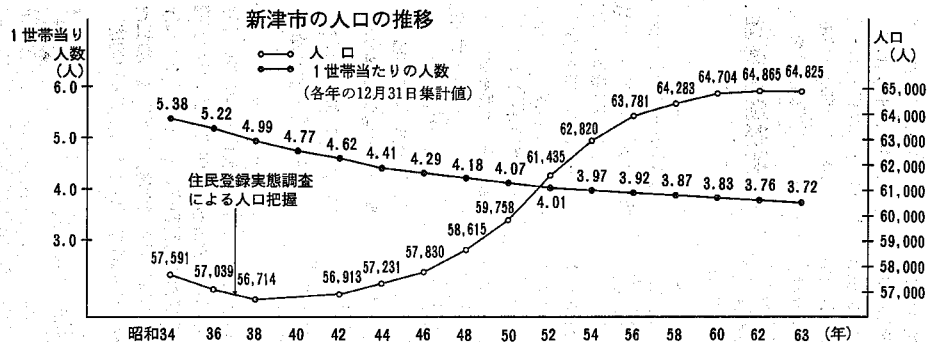




本多和美ちゃん

平成の赤ちゃん 将来は僕にまかせて

市内では、一日一七四人の赤ちゃんが生まれています。元号が平成に変わると、この新しい幕明けに誕生した赤ちゃんを助産婦さんの新生児訪問の中からご紹介いたします。

古津地区では百四十三人の大増
昨年の人口の動きを地域別に見てみると、人口が大幅に増加したのは、大規模な団地づくりが進められている古津地区(百四十三人増)と特別養護老人ホーム「かんばらの里」の入居者が加わった古田地区(七十一人増)で、極立っています。以下、金沢町、車場、

中野の各地区の順になっています。全体として、景気の好転に支えられた建築件数の増加から、宅地開発地域での人口上昇が目立ちました。

逆に人口が減少したのは、JR職員が多く、JR新体制の影響を受けた山谷地区をはじめ、南町、新金沢町などの地区です。また、中心市街地でも、地域外転出の傾向が続いています。



山口巧真ちゃん

お買物、ご用命は市内で

＝新製品好評発売＝

日本海名産 **甘じり**

日本海でとれた新鮮な甘じりをパイに折込んだ風味豊かなパイのお菓子です。カルシュウムのたっぷり入ったパリッとした日本海の風味をご賞味下さい。

北国小僧 登録商標 **にっすか**

本町2 ☎22-0112

コーヒー祭り 100g 280円 3月は3日(金)4日(土)5日(日)の3日間



住民基本台帳から

人口の動き 出生数減少で小休止

人口は減少、世帯数は増加
三バの上のグラフは、過去三十年間の当市の人口の動きを表したものです。昭和五十六年ごろから人口の増加率が鈍化し始め、昨年一年間では、わずかですが人口は四十人減り、実数として初めてマイナスとなりました。

一方、世帯数は、これとは逆に年々増え続け、昨年は二百二十一世帯増の一万七千四百三十六世帯となりました。一世帯当たりの人口は、三十年前五・四人であつたものが三・七人にまで減り、核家族化が一段と進んできています。

出生数は団塊の年代層に依存

三バのもう一つのグラフは、人口の動きを、自然動態(出生-死亡)と社会動態(転入-転出)からとれたものです。

昭和四十六年から五十四年にかけて見てみると、出生数の増加に裏付けされた急激な人口増加の時代がありました。このころは、年間八百人から千人近く増えていました。これは、戦後のベビーブームに生まれた子どもたちが、出産年齢に達したために起きた現象といえます。しかし、その後出生数は減り続け、人口の伸び率も、これに合わせてペースダウンしてきました。出生数の減少傾向は、ベビーブームの年代層が再び出産年齢に達する五年十

昭和63年中の人口の動き

自然動態		社会動態	
出生	636人	転入	1,738人
死亡	431人	転出	1,983人

年先まで続くのではないかと考えられます。

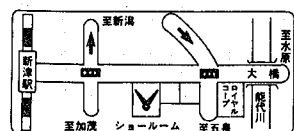
目立つ県内からの転入と県内への転出

次に人口の移動状況を見てみましょう。人口増加がこれほど大きくペースダウンした要因には、出生数の減少のほかに、転入が転出を大きく上回ったことがあげられます。昨年一年間の転入者は千七百三十八人、これに對して転出者は千九百八十三人で、二百四十五人の転出過剰となつていました。このような社会動態(転入-転出)のマイナスは、昭和五十六年ごろから続いています。しかし、昨年の社会動態の中味をもう少し詳しく見てみると、県内(ほとんどの新潟市や五泉市などの近隣エリア)では、

転入		転出	
県内 (1258人)	県外 (472人)	県内 (1180人)	県外 (795人)
国外 (8人)		国外 (8人)	

右のグラフのように、転入が転出を上回り、プラス要素に傾いています。転入の理由に「住宅」をあげる人が多くなつたことなどから、生活の利便性などから通勤圏の新津市内に居住するケースが増えたとも言えるのではないのでしょうか。

お買物、ご用命は市内で



Y 経理天然ガス ショールーム ☎22-1401

ガス器具は長〜い友達
故障、修理は専門家に



アフターサービス完全
技術と信用